

平成30年10月5日

## 平成30年東京都議会第3回定例会を終えて(談話)

都民ファーストの会東京都議団  
幹事長 増子博樹

### 1. 本日、平成30年第3回都議会定例会が閉会しました。

今定例会は、近時激しさを増している気象災害や地震などの災害への対策、人権尊重都市東京づくりのための「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」の成立、長年の懸案であった工業用水道事業の廃止などの重要な施策を大きく前進させることができました。

### 2. 災害対策については、

防災事業の緊急総点検の結果を踏まえ、補正予算の編成も視野に入れた対応を行うこと、特に、区市町村庁舎の非常用電源等を確保するための方策について、ニーズを踏まえた上で、基金の活用や補正予算の編成を含めた措置を実施すること、都立高校はもとより、公立小・中学校の体育館の空調設備について区市町村に支援することが明確になりました。

### 3. 人権尊重都市東京づくりについては、

(1)「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例案」に賛成し、同条例は成立しました。同条例では、「東京都人権施策推進指針」で取り上げられていた17の人権課題も当然含む、「いかなる種類の差別も許されない」という決意と取り組みの推進が明確にされ、オリンピック等の世界的なスポーツ大会で課題となりながら未だ十分な対策が講じられてこなかった、「性自認・性的指向」による差別とヘイトスピーチの問題について規定されました。

(2) 児童虐待防止について、緊急対策の内容が明らかにされ、来年の第1回定例会への提出を目指して条例の検討作業が進められており、虐待の未然防止、早期発見・早期対応、子どもとその保護者への支援、人材育成などの社会全体で「丸ごと支援」する体制の整備の重要性を強調しました。

(3) 総合的な就労支援について、欧州の「ソーシャルファーム」の視点も入れ、障がい者に限らず、広く就労困難者を支援する条例の検討を開始することが明らかにされました。

(4) 引きこもり対策について、都民ファーストの視点で、福祉、保健、医療、雇用、教育等の様々な分野の連携を進め、年齢によらず、身近な地域で切れ目なく、引きこもりの状態にある方々の支援を行うことが確認されました。

(5) 従業員に対する悪質なクレーム、迷惑行為は、従業員の健康を損ない、経営にも支障を及ぼしています。このような中小事業者に対する悪質なクレームについても、その実態についての調査の言及があり、対策の端緒が開かれました。

#### 4. 工業用水道事業については、

(1) 開始から既に50年以上が経過し、浄水施設や排水施設の更新は先送りできない状況となっていますが、これらの施設の更新費用を賄う使用料を支払うことは、ユーザーにとって不可能です。平成16年度包括外部監査において廃止を含めた抜本的経営改革について具体的な検討を進める必要性が指摘されて既に14年が経過しており、これ以上の先送りをせず、「東京都工業用水道条例を廃止する等の条例案」に賛成し、同条例は成立しました。

(2) 他方で、工業用水道事業の廃止によってユーザーの経営が立ち行かなくなることがないよう配慮することは不可欠です。都は、4年間の「切替措置期間」の後に更に6年間の料金「据置期間」を設け、その後に10年間の激変緩和期間を設ける、「工業用水道事業の廃止及び支援計画(案)」を示しています。私たちは、都の「支援計画案」を基本として将来の変化に対応した柔軟な見直しの必要性も否定しないという立場を表明しています。

(3) また、既設配管の他用途への転換などによる撤去経費の削減や、事業が有する資産の売却等を着実に進め、廃止経費の縮減にもしっかりと取り組むことを確認いたしました。

(4) 今後、事業廃止後の会計や財産処理の取扱いについても、都民に対するわかりやすさにも留意しながら、引き続き適切に対応していくことを求めます。

#### 5. 中央卸売市場については、

(1) 豊洲市場について、中央卸売市場としての機能を十分発揮するとともに、2020年に施行される改正卸売市場法及び食品流通構造改革促進法に対応した、経営感覚を持った市場としていくよう、大胆な改革を進められることへの期待を表明します。

(2) 築地市場用地の解体などの工事について、引き続き近隣住民との話し合いを十分に行い、次の築地再開発につなげていくように求めます。

#### 6. シェアリングエコノミーについては、

(1) 今後の東京都の成長を牽引する、新たな分野になる可能性を秘めており、都市間競争に勝ち抜いていくためにも、適法に行われるシェアリングエコノミーへの積極的な検討を都に求めています。

(2) 他方で、違法な行為が行われるようでは信頼を損ねるため、シェアリングエコノミーを進めるうえでも法律を遵守すべきは当然であり、白タク行為への更なる対策強化を求める意見書を共同提案し、採択されました。

#### 7. 平成31年度税制改正については、

本定例会において都議会でも「地方法人課税の見直しに関する意見書」を可決しました。世界中の人々を引き寄せて世界の都市間競争に勝利し、持続的な成長を続ける都市・東京を創造するため、都には多額の財政需要が見込まれます。私たちは、国による都税の収奪を、日本全体の発展のために、国による都税の収奪に全力で立ち向かいます。

#### 8. 都民ファーストの会東京都議団は、

激化する世界の都市間競争に勝利し、都民一人ひとりの「人」が、多様性を活かして活躍できる未来の東京の実現のため、今後も全力で取り組んでまいります。